



いしかわ労福協

第649/650号 2022年3月25日

発行所 石川県労働者福祉協議会
 発行責任者 福田 佳央
 編集人 上野 貞彦
 〒920-0024 金沢市西念3丁目3番5号
 電話 (076) 231-1737
 FAX (076) 231-1731
<https://ishikawa-rofukukyo.jp>
info@ishikawa-rofukukyo.jp
 毎月1回 25日発行

第18回ライフ・サポートセンター代表者会議 2022年度活動に向けて意思統一



福田理事長

労福協・県ライフ・サポートセンターは、3月16日(水)、フレンドパーク石川にて、各地域ライフ・サポートセンターの代表者ならびに連合石川4地域協議会の事務局長などを対象に第18回ライフ・サポートセンター代

表者会議を開催した。

今回についても、集会に加えwebでの参加も可能とし、会場28名・web20名の合計48名が参加し行われた。

福田佳央理事長の開催あいさつに続き、2022年度の活動に向けた方針や予算などを渡邊専務理事ほか事務局より提起し、新年度への取り組みへの理解と協力を強く求めた。

提起では、2021年度は、2020年度と比較し、同じコロナ禍にあってもグラウンドゴルフ中央大会をはじめ、各地域の活動とも増加した。2022年度については、感染予防対策を行いつ

つ工夫した運営をはかりながら、更に積極的な取り組みの協力を要請した。

また、活動原資を支える各事業団体が行う事業への協力、各地域が行うイベントの開催時に、北陸労働金庫、こくみん共済coopが商品説明・宣伝ができる機会を設けることを併せて要請した。

この後、北陸労働金庫の「2021年度事業計画の経過と2022年度事業方針」を営業推進部の赤松俊治次長が説明し、「民法の改正による成人年齢の引き下げに伴い、若年層組合員へのマネー教育を積極的に実施する」などの方針が示された。

続いて、こくみん共済coop石川推進本部の高橋智浩事業推進課長から「事業概況、保障相談票による紹介活動の実績、7才の交通安全プロジェクト、こども応援プロジェクト」の活動報告があり、茶谷容子事業推進課職員が、医療保障における終身保障の必要性を説明し、持病等ある方でも加入できる総合医療共済「終身医療引受基準緩和タイプ」を柱に各種共済の積極的推進を要請した。

終わりに、西田満明副理事長が「2022年度への取り組み、事業団体への更なる協力をお願いします」とあいさつし閉会した。



赤松氏



高橋氏



茶谷氏

第45回研究集会・第18回LSC研修会



杉野社長



西川IGM

労福協は、3月8日(火)、ANAホリデイ・イン金沢スカイにおいて、第45回研究集会・第18回ライブ・サポートセンター研修会を開催した。

研修会は、同会場とZoomミーティングを活用したハイブリッド方式にて開催し、84名(うち、Web参加38名)が「食品産業における環境問題」や「地域プロスポーツによる街おこし」について受講した。

冒頭、福田佳央理事長が「コロナ禍におけるサプライチェーンの分断、半導体不足、ロシアのウクライナ侵攻による経済制裁が、我が国の経済はもとより、一人一人の生活にどのような影響を及ぼすことになるかは不透明である。また、自然災害を含め、何かあれば早めに対応すべく、労福協・連合石川の連携が必要である。本日の杉野社長からは水産資源面での話もあると思うが、しっかりと研修を受け、日々の暮らし・労働運動・経済活動の糧としていただきたい」と挨拶して、早速講演に移った。

初めに株式会社スギヨ代表取締役社長の杉野哲也氏が「世界・日本食について～持続的な社会を考える新しい環境問題～」と題して、講演した。

杉野氏は、「寛永17年創業から約400年近く蒲鉾を作り続け、カニ風味かまぼこの“香り箱”がヒットし知名度が向上した。大消費地に近い場所での生産工場の設置、鮮度向上のための洋上加工船の導入など、消費者により良い品を提供するための対応を行っているが、水産資源の減少・世界的な水産物需要拡大による価格高騰で製造現場の環境は厳しい状況にある。また、食料全体の供給で見た場合、国内のみならず世界における自然災害、紛争などにより、食料需給が崩れ価格高騰を招いている。食品ロスでは、

製造過程における規格外品、商習慣による余剰品のほか、返品、食べ残しが大半としてあるが、食品製造業から小売業における商習慣の見直し、消費者意識改革が食品ロス削減におけるカギとなる」と食品製造者の立場から見た講演をした。

次に株式会社石川ツエーゲン代表取締役GMの西川圭史氏が「ツエーゲン金沢の目指す街～スポーツの力で石川を元気に！～」と題して、講演した。

西川氏は、「学卒後の職業経験から、“ソフト面での街づくり”に係わりたいたした中で、ツエーゲン金沢の運営に係わることとなった。もちろん、チームがJ2リーグからJ1リーグに昇格する強いチームにすることが大切であるが、スポーツが持つ力で社会に貢献しようと住民、企業、NPO、行政、学校と連携して社会課題や共通のテーマに取り組む活動を行っている。2019年にクラブ理念として『つなぐ・楽しむ・夢見る・育てる・つくる』を設定し、視覚障がい者とのサッカー観戦やブラインドサッカーの立ち上げ、マスコットキャラクターによるショー、子どもたちを対象とした交流イベントショー、フードドライブなど地域に根差した取り組みをさらに深化して行っている。今、世界的にもプロスポーツは成長産業であり、ツエーゲン金沢もこの成長に乗り遅れることなく地域とともにJ1昇格を目指していく」とコロナ禍での運営に奮闘するチーム運営者として講演した。

普段は、マーケットに陳列されるひとつの商品、地元のプロサッカーチームとしての認識しかなかったが、「スギヨの香り箱などの練り製品」、「ツエーゲン金沢」がより身近な存在に感じられる内容であった。

最後に野村昇司副理事長の閉会挨拶で締めくくった。



労福協理事会



2月28日(月)、フレンドパーク石川において第7回

理事会を開催した。

理事会には、役員15名が出席し、福田佳央理事長が遅れての出席となるため、福田理事長が来るまで、西田満明副理事長が議長となり理事会を進めた。「新種株の猛威で感染者が高止まりしており、まん延防止等特別措置の期間は延長される見通しである。このことに係わらず、引き続き“感染させない・感染しない”取り組みの継続が事業継続の上でも大切であり、引き続き留意されたい」と冒頭あいさつして議事進行を促した。

渡邊雅人専務理事が、前回理事会以降の取り組みについて報告したのに続き、各団体より事業報告がなされ、全体で確認した。

協議事項に入る直前に福田理事長が出席したことから、遅れたことを陳謝し、議長を西田副理事長より交代する旨を述べて議事を再開した。

協議事項では、第61回通常総会を当初予定していた6月23日(木)から6月20日(月)に変更して開催することのほか、各会員への議決権の配分を決定した。また、2022年度の活動方針(案)、同年度予算(案)についても満場一致で承認した。

フレンドパーク石川の運営に係り、開業以来一度も値上げをしてこなかった会議室利用料金の引き上げ、設備の老朽化に伴う館内入居団体へのインターネット環境の提供終了、諸物価の上昇による清掃業務の見直しなどの議案についても満場一致で承認し、会館事業の健全化への一歩を踏み出した。

さらには、研究集会やライフ・サポートセンター代表者会議の開催、他団体開催の会議等への出席などの議案についても承認をし、2021年度末から新年度に向けての取り組みを確認した。

石川労福協が婚活応援組織として表彰

この度、石川労福協は、石川県が認定する「令和3年度いしかわ婚活応援優秀企業知事表彰」制度の受賞企業に選定された。



この制度は、県内の企業等における結婚支援の自主的な取り組みの促進を図るため、結婚を希望する従業員等の結婚支援に特に積極的に取り組む企業等を表彰するものであり、毎年、県内の優秀な取り組みをしている複数の団体や企業が選定されている。

石川労福協では、ここ2年間はコロナ禍にあり、婚活行事を開催すべく企画するものの、まん延防止等により中止を余儀なくされている。しかし、平成23年度から長きに渡り継続して婚活イベントを開催していることやこれまで

に約570名が参加、60組のカップルが成立し、4組が成婚に至っている実績があることが評価されて、受賞企業10社のうちのひとつに選定された。

2月22日(火)に、石川県庁において「いしかわ婚活応援優秀企業知事表彰式」が開催され、渡邊雅人専務理事が出席した。

谷本正憲県知事から表彰状と記念品が授与され、「未婚の方の出会いの場の提供と婚活の促進等に感謝する」と挨拶があった。

石川労福協は、今後も組合員や県民のために、出会いのきっかけとなる婚活に関する行事について、コロナ禍においても創意工夫を行い、実施していく方針である。

これからの行事予定

(3月25日現在)

開催日	曜日	行 事	会 場
3月25日	金	第7回三役会議	フレンドパーク石川
31日	木	勤労者互助会 役員会	北陸労金
4月1日	金	石川ユニセフ協会 会計監査	石川県ユニセフ協会
5日	火	第93回石川県統一メーデー 第2回実行委員会	フレンドパーク石川
〃	〃	食とみどり水を守るいしかわNW 第2回幹事会	〃
19日	火	中部労福協 第1回幹事会(～20日)	和歌山市
22日	金	2022年度第1回監事監査	フレンドパーク石川
5月1日	日	第93回石川県統一メーデー(県内6会場)	いしかわ四高記念公園ほか
10日	火	2022年度第1回理事会	フレンドパーク石川
12日	木	勤労者互助会 総代会	金沢勤労者プラザ
6月2日	木	全国研究集会(Web)	フレンドパーク石川
20日	月	第61回通常総会(Web+会場)	〃

第93回石川県統一メーデー開催へ

石川労福協、連合石川、各事業団体で構成する第93回石川県統一メーデー第1回実行委員会が2月28日(月)に開催された。

冒頭、福田佳央連合石川会長(労福協理事長)が、「コロナ禍の状況にもよるが、今年は5月1日が日曜日にあたることから、是非、家族参加型での開催としたい。皆さま方のご協力をお願いします」と挨拶し、事務局より第93回の実行委員会の委員構成が提案され、実行委員長に福田連合石川会長を選出して審議を進めた。

金沢中央大会の運営において、県メーデー実行委員会と金沢中央大会実行委員会を統合し、県内各地のメーデー大会の予算配分と協賛行事について決定するほか、金沢中央大会の運営に係わることと、運営上の支障を解消することと

した。

開催は、金沢中央大会は5月1日(日)とするほか県内5地区でも同日の開催とすることを確認し、開催においては家族参加型を旨とした企画とすることを添えた。

協賛行事は、昨年同様に勤体協、勤文協が行う行事のほか、チャリティゴルフ大会、囲碁将棋大会、グラウンドゴルフ大会を計画した。さらに、東日本大震災の支援関連の取り組みとして、自然災害が多発する中で、万一に備えた「ボランティア・サポーター」の養成に取り組んでは如何かと提案された。

最後にメーデー実施に係る活動資金の分担金等の分担割と実施にかかる費用配分について確認して、メーデー開催に備えた。

加賀地域LSC

加賀地域LSCは、2月26日(土)にかが交流プラザさくら会議室にて、「第3回ものづくり」(ミモザを使ったスワッグ作り)を開催しました。

今回もスックグリーン代表の中村肇伸・知里さんご夫妻に講師をお願いし、コロナ禍である為、ソーシャルディスタンスを保ち、マスク着用・手指の消毒・検温をしたうえでの少人数開催となりました。知里先生には、「少人数だと、しっかりと教える事ができる」、肇伸先生には、「お店で売れる出来です」と言っていたが、暫しの間、仕事や家事を忘れ、しっかりと自分の楽しい時間を

過ごすことができたのではないのでしょうか。最後に集合写真を撮って解散となりました。

今回集められた募金は、加賀市に寄附し、児童福祉事業に充てられます。

一日も早くコロナが収束し、以前のようにたくさんの方に、ものづくりの楽しさを経験していただきたいと願います。



勤労者体育協会

《2022年、2/6~3/25》
《第56回 県勤労者冬季体育大会
バスケットボール大会》

2月13日・野々市市

◇男子

- ① raccoon (金沢市) ② いろこい (小松市)
③ HF10XWL (中能登町)

2月20日・金沢市

◇女子

- ① SMOKERS ② No. ③ FACE

3月6日・白山市

◇男子

- ① LAND ARK (小松市) ② Funnybeat (野々市市)
③ 美川 BC (白山市)

勤文協

勤労者早春絵画・書・生花展

1月27日(木)～1月30日(日)、石川県勤労者文化協会主催の第52回早春絵画・書・生花展が、しいのき迎賓館ギャラリー A 及び B にて開催された。日本画 12 点、洋画 23 点、書道 26 点、生花 9 点の出展があり、早春にふさわしい華やかな作品が来場者の目を楽しませた。最高

賞の勤文協会長賞には長内礼子氏(書道・金沢市)、特別賞の野々市市長賞には村田由美子氏(洋画・野々市市)が選ばれた。

また、2月3日(木)～2月7日(月)には特別展として野々市市の情報交流館カメラア 3F ギャラリーにて入賞作品 17 点が展示された。

日本画



招待・奨励賞「春の陽射しの中で」
河合 百合子<羽咋市>



北國新聞社長賞「壺に蘭」
川端 瑞恵<金沢市>



労福協理事長賞「おしゃまん」
大橋 由紀恵<金沢市>

洋画



招待・奨励賞「乙丸陸橋から金沢車両基地」
西村 光<金沢市>



野々市市長賞「笑栗」
村田 由美子<野々市市>



北國新聞社長賞「踊流し」
松田 寛<金沢市>



労福協理事長賞「朝つゆの秋星」
釜親 鉄夫<珠洲市>

書道



招待・奨励賞「静淑」
藤村 景雪<金沢市>



勤文協会長賞「舞」
長内 礼子<金沢市>



北國新聞社長賞「樋口一葉歌」
瀧 雅美<金沢市>



労働協理事長賞「黎明」
木谷 司<金沢市>

HOYURIKU ROKIN
20th Anniversary
since 2001-2021

ろうきん アンバサダー 高梨 隆

スマホ・パソコン
からお申込みもご契約も
Webで完結
できるんです！

ご来店不要！時間も節約！
24時間365日受付！

Web自動車ローン Web教育ローン
Webフリーローン Webリフォームローン+α

無担保 ろうきん Webローン

あなたのプランで、
選べる！頼れる！

詳しくはこちら

※北陸ろうきんの普通預金口座をお持ちの方に限ります。お持ちでない方は、店頭または、口座開設アプリで普通預金口座の開設をしていただく必要があります。

「たすけあいの輪をむすぶ」
こくみん共済 coop は、次のステージへ

こくみん共済 NEWS

こくみん共済	団体生命共済
火災共済	自然災害共済
総合医療共済	せいめい共済
マイカー共済	自賠償共済
交通災害共済	新セット移行共済

公式キャラクター ビットくん

こくみん共済 <全労済>
全国労働者共済生活協同組合連合会 coop

たすけあいの輪をむすぶ

「こくみん共済 coop」は営利を目的としない保障の生協として共済事業を営み、相互扶助の精神にもとづき、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしに貢献することを目的としています。この趣旨に賛同いただき、出資金を払い込んで居住地または勤務地の共済生協の組合員となることで各種共済制度をご利用いただけます。